ASA CLIのトラブルシューティングコマンド

内容

はじめに

このドキュメントでは、ASA CLIのトラブルシューティングコマンドの使用方法について説明します。

概要

IPSEC IKEv2トンネルを使用してCisco Umbrella SIGデータセンターとセキュアWebゲートウェイに接続するためにCisco ASAファイアウォールを導入するには、次の手順を実行します。
https://docs.umbrella.com/deployment-umbrella/v1.0.6/docs/add-cisco-asa-tunnel

サポートケースのトラブルシューティングと提起

Cisco ASAの導入で問題が発生している場合は、umbrella-support@cisco.comでサポートケースを提起してください。この問題を提起する場合は、次の情報を提供してください。問題の説明、コマンドの出力（ここに表示）、および関連するASDMスクリーンショット。Cisco ASA CLI経由でコマンドを実行してください。

- show version（ASAソフトウェアのバージョンを表示します）
- show tech（ASAハードウェア情報を表示します）
- show run（実行中の設定を表示します）
- Show crypto ikev2 sa（フェーズ1セキュリティアソシエーションSAの状態を表示します）
- show crypto ipsec sa detail（ルータおよびPIX）フェーズ2のSAの状態を表示します。

特定の送信元IPアドレスとポート、および特定の宛先IPアドレスとポートを使用して、内部インターフェイスからのパケットをシミュレートするには、このコマンドを使用します。応答は、パケットがトンネルを通過するかどうかを示します。

この例では、10.0.0.1から72.163.4.161へのHTTPトラフィックをシミュレートします。これらは、トンネル経由で通信できるホストです。これが動作せず、SAが形成されない場合。したがって、フェーズ1に焦点を当てるのに適した場所です。

コマンドの形式：

```
packet-tracer input [src_int] [protocol] [src_addr] [src_port] [dest_addr]  [dest_port] detailed
```

ciscoasa番号

```
packet-tracer input inside tcp 10.70.134.11 34500  72.163.4.161 443 detailed
```

翻訳について
シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。